

市内活動グループ訪問記

おまじさい

ハンドメイドショップバオバブは
素敵な製剤がいっぱい！



11月に入り穏やかなお天気が続く4日に、あじさい会館1階にある「ハンドメイドショップバオバブ」さんにおじゃましてお話を伺いました。

当日は、パステルファームから宮田さん、池田さん2名のスタッフと、製剤を出品している作業所「ポコアポコ」の利用者さん1名の計3名でお店番をされていました。

★ハンドメイドショップバオバブさんについて教えてください。

★ハンドショップバオバブは、相模原市障害者地域作業所等連絡協議会(障害連)が運営する手作りの製剤のお店で、事務局は松が丘園です。相模原市の障害者福祉サービス事業所で作っているさまざまな手作りの製剤を販売、また障がいのある方の就労体験の場や、市民との交流の場になっています。

★いろいろな製剤がありますが、また参加団体さんの数は？



優しく対応して下さるスタッフの宮田さん(右)と池田さん

★製剤は、食品、陶芸、木工品、革製剤、紙製剤、布製剤、織物製剤、雑貨、アクセサリーなど、団体数は20カ所以上です。障害連に加盟していない事業所

からも出品していただいています。

★人気製剤を教えてください。

★クッキー、ハーブティー、乾燥コンニャク、今はしいたけも人気があります。クッキーは1個からでも買えます。時節柄、缶バッジ(フクチン接種済みの文字と絵付き)など、これからはクリスマスカード、アクセサリーも人気があります。(マスクの紐に付けるビーズのアクセサリーが可愛かったです)。(マスクが品薄の時はよく売れました)。

★お客様は？

★あじさい会館



クッキー、ハーブティーなど沢山の品物が、工夫されて並べられています。

★利用者がお店番をしている時に、自分たちの作業所で作った製剤が売れると「売れたよー」と嬉しそうにしています。

★ハンドメイドなら教えてください。

納品された製剤はスタッフ、利用者さんで、どうしたら見やすいか、車椅子から見やすいように、どの製剤をどこに並べるかなど、いろいろ工夫しています。車椅子、ベビーカーも入れやすいになっています。

★シジ業務やお掃除も自分たちで行っています。展示が好きな人はきちんと丁寧に並べ、お掃除が好きな人はお掃除を(当日も床はピッカピカでした)。シジが好

きな人はシジを担当、個々の適性を生かしてその人に合った作業をお願いしています。

利用者さん何うに「朝から夕方まで疲れをいれど楽しい」と話してくれました。お話を伺っている間も、お客様にきちんと対応されていました。

「コロナ禍以前は、スタッフ2名、利用者さん2名でお店番をしていましたが、今は密にならないように利用者さん1名で行っているそうです。早く以前のようにならなり、明るく楽しくやっていただきたいと、スタッフさんは話してくれました。

他市の方からは「相模原はいいですね。こんなに広く色々な製剤を並べて販売できる場所がある」と言われるそうです。

相模原ではバオバブ以外に、病院や生協、麦の穂カフェに製剤を置かせていただいているそうです。これから販売所が沢山できると良いですね。

最後にスタッフの方が「あじさい会館やお近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。おいしい食品、ステキな製剤を揃えて、スタッフ一同お待ちしております。日曜日以外は営業しています」と、こやかにお話をしてくれました。(杉崎・小山)



*バオバブ

〒252-0236

相模原市中央区富士見 6-1-20

あじさい会館1F

TEL/FAX 042-757-6772

http://shosakren-sagamihara.info/baobab.html